

地域住宅生産者グループ

つぐっぺおらほの復興家づくりの会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
地域のめぐみで創るみやぎの住まいづくり「日高見の家」	宮城県南三陸沿岸及び石巻市・東松島市

グループの特徴とメッセージ

私たちは、愛着の持てる住まいを提供すると共に、作り手の顔がみえる家づくりを大切にしています。地域で育った木材をふんだんに使い、地域で腕をみがいてきた職人と共に、心がほっと和む住まい、いつまでも安心して暮らせる住まいを提供したいと考えています。プランニングにおいては、宮城県の建築家協会に所属する有志の建築家や有識者が集まり、様々な課題解消にあたります。耐震性・耐久性の保持はもちろん、新たなコミュニティの形成や地域の魅力づくりなどの課題に対し、地域の住民と一緒にワークショップを開催し、地域の再生を目指します。メンバーは各地域にネットワークがありますので、住まい手のニーズに合わせた設計、施工、木材を提案することが可能です。

グループの基本情報

グループ名称	つぐっぺおらほの復興家づくりの会
所在地	宮城県石巻市北上町女川中原 13 内
結成年月	2011 年 12 月
グループ形態	任意団体
主たる業態	工務店
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 57 社 原木供給 : 5 社 製材 : 6 社 建材流通 : 5 社 プレカット : 1 社 設計 : 12 社 施工 : 32 社
代表者名	佐々木 淳 (佐々木建築代表)
主な受賞歴・ 活動内容 等	平成 17 年宮城木造住宅コンクール優秀賞。平成 19 年日本木材青壮団連合会木材活用コンクール住宅部門賞。平成 20 年宮城木造住宅コンクール特別賞

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,200～2,400 万円
価格の基準面積	80 m ² ～145 m ²
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	87 戸
うち地域材活用の住宅	40 戸
うち長期優良住宅	15 戸
グループとしての 施工実績	なし 戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	150 戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	500 万円以上の大～ 中規模リフォーム工 事を 50 戸程度受注 (年間)

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	佐々木 文彦	メール	sasaki@sasakisekkei.co.jp
電話番号	022-268-6578	F A X	022-268-7164
ホームページ	http://www.sasakisekkei.co.jp		
自由記入欄	事務局本部 (東京) FoE Japan 担当: 佐々木 勝教 メール: office@foejapan.org 電話: 03-6907-7217 FAX: 03-6907-7219		

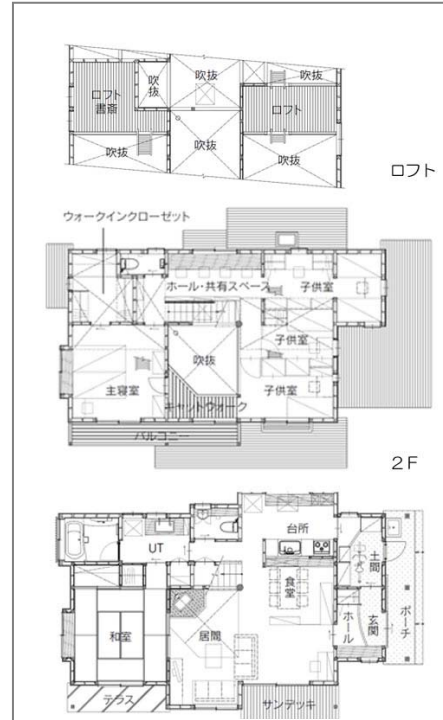
地域型復興住宅

地域のめぐみで創るみやぎの住まいづくり 「日高見の家」

地域型復興住宅のイメージと特徴

■「地域の木材と職人を使った顔の見える関係で愛着のもてる家づくり」

- ・自然素材を中心とした、人に優しい、杉材等の県産材をふんだんに使用した、地産地消の家づくりを目指します。明るく、暖かく、落ち着く家になるようなデザインを心掛けます。
- ・高い施工精度が要求される、柱や梁などの構造材を現しにしたデザインもご提案可能です。
- ・様々な世代や状況の暮らしに対応した、ユニバーサルデザインの設計を行います。
- ・県産材・地域材の持続的な活用＝地域の木材を使った家づくりシステムの構築をします。



代表的事例の概要

構造	伝統的木造在来軸組工法	床面積	1階：80.97 m ² 2階：61.95 m ²
設計	有限会社ササキ設計	施工	株式会社興建ハウジング
施工費	2,600 万円（設計費用は除く）	備考	延床積：142.92 m ² （43.2 坪）

設計方法や地域材活用に関する特徴

■「地域の木材と職人を使った顔の見える関係で愛着のもてる家づくり」

- ・設計体制：グループ内の設計事務所は 12 社で、(社)日本建築家協会東北支部宮城地域会の有志の建築家等、仙台～石巻で活動している設計者が皆様のより豊かな生活を送るための住まいづくりを提案いたします。家づくり関係のコンクールにおいての受賞実績（宮城木造住宅コンクール等）も多数あり、相談者への多様な要望にも的確に迅速に対応できます。また、作り手と消費者が顔の見える関係を築くために森林・現場見学会を定期的で開催していきます。

主に活用している地域材について

地域材の名称	宮城県産杉材
樹種	杉、アカマツ
産地	宮城県
認証制度等	宮城県産木材証明書
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装造作材
自由記入欄	地域型復興住宅では、宮城県産野の杉材等をふんだんに活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■安心・安全な住まいのために最低限行うこと

- ・耐震等級 2 以上または免震建築物とすることで、極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図り、損傷のレベルの低減を図ります。
- ・次世代省エネルギー基準（省エネルギー等級 4）に適合する省エネルギー性能を確保します。
- ・構造躯体等に影響を与えることなく、配管の維持管理を行え、耐用年数の短い内装・設備について、更新時の工事が軽減される措置を講じます。
- ・数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できるよう、劣化対策等級 3 相当に加え、床下及び小屋裏に点検口を設置し、床下空間には 330mm 以上の有効高さを確保します。
- ・良好な居住環境を確保するため、最低 75 m²以上の住戸面積を確保し、少なくとも 1 の階の床面積を 40 m²以上確保します。



地域住宅生産者グループ

つぐっぺおらほの復興家づくりの会

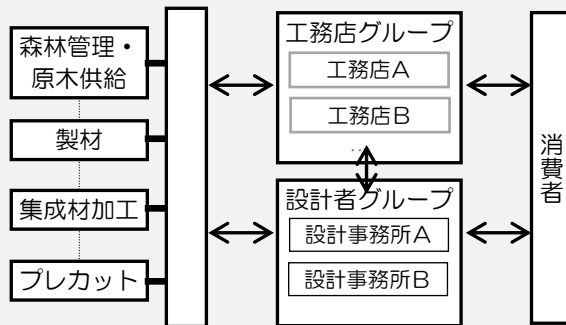
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■産地と作り手と設計者が手を組んだ体制

- ・ 県森連・県木連・南三陸・津山・石巻地域の森林組合等との連携により地域の木材を調達し、6社の製材所とが連携し、製材、乾燥、プレカットを行い、需要に見合う供給体制を構築します。



つぐっぺおらほの復興家づくりの会の体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■相談体制

- ・ 事務局を窓口にして、相談内容に応じて、設計、施工、木材建材の中から担当者を決め対応します。
- ・ 相談会の日時や場所については、つぐっぺおらほの復興家づくりの会のホームページ等で告知を行います。



■維持管理体制

- ・ 構造耐力上主要な部分、水の浸入を防止する部分、給水・排水の設備について、点検の時期や内容を維持保全計画に定め、少なくとも10年ごとに点検を実施します。
- ・ 住宅履歴情報を作成し、維持管理に関する情報を記録します。

